

キャラクター名	プレイヤー名
標 遊佐 (しめぎ・ゆさ)	

シンドローム	サラマンダー ウロボロス		ワークス	UGNチルドレンC	カヴァー	引きこもり
	オプション		年齢	15	性別	女性
覚醒	忘却	衝動	恐怖	初期侵食率	47	%
出自	親戚と疎遠	経験	脱走	邂逅	借り	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	30
肉体	3	0	0			3	行動値	6
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	6
精神	3	1	0			4	戦闘移動	11
社会	1	0	0			1	全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	7		交渉		
回避	1		知覚			意志	1		調達		
運転:			芸術:			知識:			情報:	UGN	5
運転:			芸術:			知識:			情報:	噂話	1
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲: 0 合計回避: 0

所持品	
思い出の一品	
携帯電話	
アクセサリ	
メモリー: かつての先輩エージェント	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
奇妙な隣人	P	N		
“影子さん”	P 連帯感	N 嫌気		
ママ	P 信頼	N 恐怖		
シナリオ: 松浦 生	P 尽力	N 隔意		
褪暮 滯花	P 誠意	N 隔意		
沙夜さん	P 誠意	N 不安		
生ける漆黒の炎	P	N		

最大財産P: 2 残り財産P: 0

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
螺旋の悪魔	5	3	セット					
効果: R間ウロボロスエフェクトを含む攻撃に+[Lv×3]。BS:暴走								
オリジン:レジェンド	5	2	マイナー				RB	
効果: 【精神】達成値+[Lv×2]								
コンセントレイト:ウロ	2	2	メジャー			シンドローム		
効果: C値-Lv(下限値7)								
飢えし影	1	1	メジャー	視界		RC		
効果: 攻撃力+[Lv+2]の射撃攻撃								
災厄の炎	3	4	メジャー	至近	範囲(選)	RC		
効果: 攻撃力+[Lv×3]の射撃攻撃								
氷の塔	2	4	メジャー	視界	範囲(選)	RC		
効果: 攻撃力+[Lv×3]の射撃攻撃。同エンゲージ不可								
原初の白:イエーガーマイスター	3	6	メジャー		単体	シンドローム	80↑	
効果: 攻撃力+[Lv×4]。ドッジD-3								
混沌なる主	3	2	メジャー			シンドローム		
効果: 《原初の●》の達成値+[Lv×2]。シーン3回								
バーニングハート	1	2	オート					
効果: 被ダメ直後、BS暴走&攻撃力+[Lv×2]								
ハートレスメモリー	1	4	メジャー	視界	単体	RC	RB	
効果: 死者と会話する。シーン1回								
原初の赤:知識の泉	1	2	メジャー			【精神】		
効果: 判定D+[Lv+1]。戦闘中使用不可								
紅蓮の憎悪	3		常時					
効果: BS受けている間、攻撃力+[Lv×3]								
原初の黒:勝利の女神	5	6	オート	視界	単体		100↑	
効果: 達成値+[Lv×3]。ラウンド1回								

・両親は恐らく健在。生まれてすぐに能力を発現、親族に疎まれて早々にUGNへ預けられたため、顔はほぼ覚えていない。
 ・オーヴァードとしての能力は低いうえ、競争心も闘争心もなくチルドレン養成所では劣等生。
 ・支部配属後も失敗続きで先輩たちに怒鳴られてばかりいた。色々嫌になって脱走しようとして失敗したこともある。
 ・唯一優しく面倒を見てくれた先輩エージェント(女性)があり、彼女のことを一番慕っていた。姉御肌の気さくな女性だった。

・遺産の暴走後、壊滅した支部で茫然としていた所で、〈奇妙な隣人〉に取り憑かれ死んだはずの仲間たちの声が聞こえ始めた。
 これまででざんねん返ってきた人たちが「お前にしかできない」「お前しか頼れない」と期待をかけてかの遺産暴走の後始末や調査を頼んでくことに、何だかなあとは感じつつ、判断力が皆無のためずるずると彼らの指示を聞き受けて今に至る。
 ・死人の声を聞くに至らした協力型シネグイドビーイングを”影子さん”と呼んでいる。
 かつての仲間たちの声の中に、何故か一番大好きだった彼女の声はなく、他の死んだ仲間たちが口々に話した彼女の姿が形を成したのが”影子さん”。仲間たちが見ていた彼女の姿のため、見た目・口調はそっくりで、別人として拒絶したい思いはありながら、何処か彼女の影を見て惹かれてしまっている。それでも、思い出の中の彼女と、影子さんが重ならないよう、自分の持つ彼女の思い出が影子を彼女へ近づけないよう、遊佐は彼女のことを思い出さないことを訓戒のように掲げている。
 “影子さん”自身はPCのことを割合気に入っており、世話を焼いたり掃除したりしてくれている。
 具体的には、決断に困ってる時に励ましてくれたり、人格乗っ取って代わりに口にしたりとか。
 ・「カラーレスト」を追う理由はかつての仲間たちが言うから(＋あわよくば一区切りついたら声たちから解放されたいから)という消極的な理由だが、無自覚下にこれ以上大事な人を失いたくないという思いもあっただらいいなあ。

 自身はヘタレの臆病者で人との会話が苦手、あと戦闘も嫌い。正直UGNも早く辞めたい。
 基本的に、能動的な行動は“影子さん”にどやされてやっている。
 手持ちの装飾品がやたらと多いが、全て亡くなった仲間の遺品である。(ヘアピン、ピアス、バングル・ブレスレット、腕時計、ピンバッチ、ジャケットetc...) チョーカーだけは私物。かつての先輩の彼女から貰ったもの。かつて脱走を試みたあとに「逃げんなよ」と首輪替わりに填められた。

